

特集

ヒトと動物の芸術心理学

われわれヒトは進化の産物です。それならば、心のはたらきも進化の産物なのかもしれません。何となくヒト固有なものと思われる芸術でさえ、ひょっとするとその萌芽がヒト以外の動物に見られるかもしれません。そこで本特集では、ヒト芸術（絵画）の製作と認知、その進化的起源について解説していただくことにしました。

ヒトだけが、作っても空腹は満たされないのに、時間や労力を費やしてまで「芸術作品」を作るのでしょうか？ 動物もそうした作品からメッセージを受け取ったり、その価値を判断したりするのでしょうか？ とくにヒトに最も近縁な動物種であるチンパンジーの「描く」絵にはどのような特徴があるのでしょうか？ また、人類はいつ頃から他者と価値を共有できるような「芸術」を表現してきたのでしょうか？ 実在しないはずのものを創造して描いたのでしょうか？ そして、ヒトが美しさを感じる時、脳はどのように反応するのでしょうか？ その脳活動から、美とは何かを解明できるのでしょうか？

この特集で芸術について一緒に考えてみませんか。

(脇田真清)